

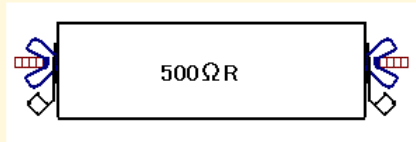
T2FD アンテナ用 バラン+終端抵抗 組立部品セット

セット(100W機対応)

9:1バランと500Ω合成抵抗のセット 1.8MHz~30MHz

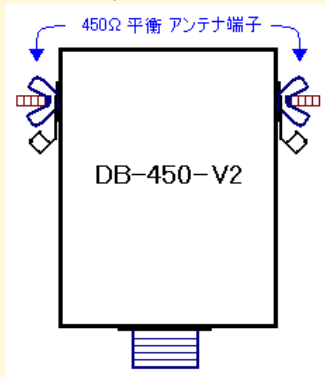
許容入力電力: FM 60W / CW SSB 120W

500Ω合成抵抗



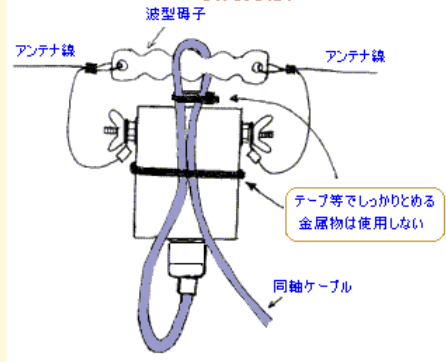
500Ω合成抵抗 サイズ 130W×25H×40D(mm)

9:1バラン DB-450-V2

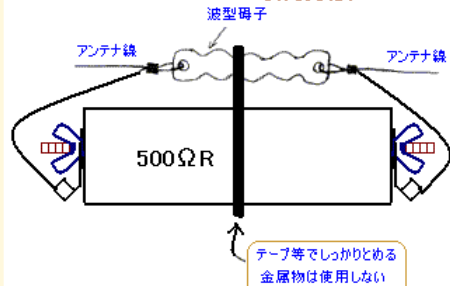


9:1バラン サイズ 50W×75H×30D(mm)

バラン取付方法



500ΩR 取付方法



T2FD アンテナ用 バラン+終端抵抗組立部品セット

DB-450-V2組立部品セットと500Ω合成抵抗のセットです

- ①9:1バラン DB-450-V2 は別紙の作り方のように、コアに巻いて作ります
- ②500Ω合成抵抗は、右図の作り方のように組立半田付けします

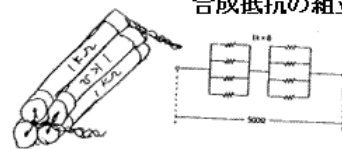


500Ω 合成抵抗 の作り方

①1KΩ (5W) の酸化金属被膜抵抗の4本バラ (並列) 接続を2組作り、シリーズ (直列) に接続します
抵抗は隣同士逆に接続して、インダクタンスのキャンセルをします。又、抵抗のリード (足) は出来るだけ短く結線します

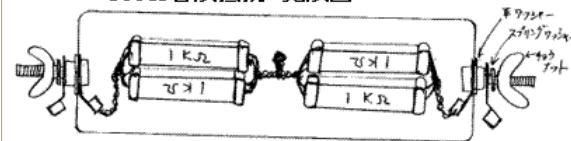
②プラBOXにおさめて、リード線で半田付けします
端子等を接着剤等で、かためて、フタをして完成です。

合成抵抗の組立



抵抗は隣同士逆に接続する 1KΩ (5W) × 8

500Ω合成抵抗 完成図



抵抗は隣同士逆に接続する

パーツリスト

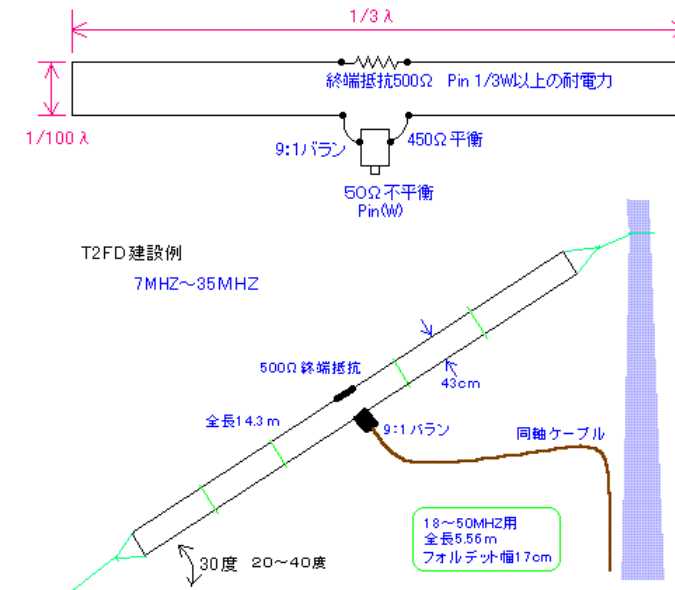
- プラBOX ×1 (加工済み)
- ステンボルトナットワッシャー ... ×2組
- 酸化金属被膜抵抗 1K(5W) ... ×8本
- ラグ端子 ×4
- 蝶ナット ×2

Tilted Terminated Folded Dipole

終端抵抗型、傾斜式、フォールドドットダイポール

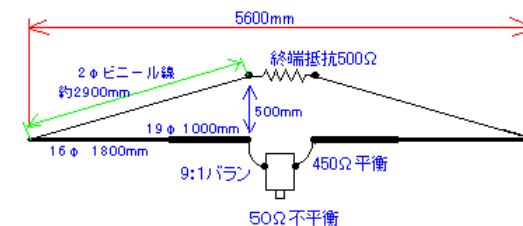
T2FDアンテナ資料

T2FDの特長 *無調整で広帯域 SWR2.0以下で1:5
*アンテナの傾斜角度は、30度(20~40°)で無指向性



(例) 変形T2FDの構成

CQ Ham Radio誌1993年6月号にJH2TQH氏が発表した 変形T2FDの構成



参考文献

- *CQ出版社 ダイナミックハムシリーズ16 「ワイヤーアンテナ」
- *CQ ham radio誌 1991年9月号 JA1FGW吉田武氏「T2FDのすべて」
- *CQ ham radio誌 1993年6月号 JH2TQH太田氏「変形T2FDアンテナ」

株式会社 **大進無線**
〒410-0022 沼津市大岡 2223-14
TEL 055-925-4961 FAX 055-925-4962

URL <http://www.ddd-daishin.co.jp/>
E-mail info@ddd-daishin.co.jp